

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成24年2月9日(2012.2.9)

【公表番号】特表2011-507630(P2011-507630A)

【公表日】平成23年3月10日(2011.3.10)

【年通号数】公開・登録公報2011-010

【出願番号】特願2010-539863(P2010-539863)

【国際特許分類】

A 6 1 M 37/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 M 37/00

【手続補正書】

【提出日】平成23年12月16日(2011.12.16)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

治療薬の磁気アシスト送達のためのシステムであって、

キャリヤ表面および、キャリヤ表面を通して広がる磁力線を備える第1の磁界を生成する第1の磁界発生器を備えるキャリヤ・デバイスであって、該第1の磁界は、キャリヤ表面において第1の磁界強度を有する、キャリヤ・デバイスと、

前記第1の磁界によって前記キャリヤ表面に引きつけられる複数の分離した磁気粒子であって、該分離した磁気粒子は、治療薬と結合している、磁気粒子と、

リリース・デバイスのリリース表面を通して広がる磁力線を有する第2の磁界を生成する第2の磁界発生器を備えるリリース・デバイスであって、該第2の磁界発生器は、前記キャリヤ表面において、前記リリース表面が、キャリヤ表面から2センチメートル以下の距離に位置する場合に、前記キャリヤ表面における前記第1の磁界強度より大きい第2の磁界強度で第2の磁界を生成することができる、リリース・デバイスと、
を備えるシステム。

【請求項2】

治療薬の磁気アシスト送達のためのシステムであって、

キャリヤ表面および、キャリヤ表面を通して広がる磁力線を備える第1の磁界を生成する第1の磁界発生器を備えるキャリヤ・デバイスであって、該第1の磁界は、キャリヤ表面において第1の磁界強度を有する、キャリヤ・デバイスと、

前記第1の磁界によって前記キャリヤ表面に引きつけられる複数の分離した磁気粒子であって、該分離した磁気粒子は、治療薬と結合している、磁気粒子と、

リリース・デバイスのリリース表面を通して広がる磁力線を有する第2の磁界を生成する第2の磁界発生器を備えるリリース・デバイスであって、該第2の磁界発生器は、前記キャリヤ表面において、リリース表面が、キャリヤ表面から15センチメートル以下の距離に位置する場合に、前記キャリヤ表面における前記第1の磁界強度より大きい第2の磁界強度で第2の磁界を生成することができる、リリース・デバイスと、
を備えるシステム。

【請求項3】

前記第1の磁界発生器は、静磁場を生成する磁性材料を備える、請求項1ないし2のいずれか1項に記載のシステム。

【請求項 4】

前記第1の磁界発生器は、永久磁性物質を備え、
前記第2の磁界発生器は、電磁石から成り、
さらに、前記第2の磁界発生器は、コントローラを備え、
該コントローラは、前記第2の磁界強度を変化させるように構成される、請求項1ない
し2のいずれか1項に記載のシステム。